

JAL退職者交流集会報告① 以下のQ&Aは、7月29日のJAL退職者交流集会における荒木克巳氏と丸山巖氏の両OB機長による講演記録を、読みやすく整理し加筆補正したのですが、テーマごとに5回に分けて掲載します。

### ①年金放談から再建放談へ。

ご紹介いたします。元、機長会の会長と副会長をなさっていた荒木（副会長）さんと、丸山（会長）さんです。ブログは年金の問題から始まって、JAL再建放談というタイトルでお書きになっているということを伺いましたが、始めたきっかけをもう一度お話しいただけますでしょうか。

（荒木さん）

荒木です。私の方が副会長で、お隣の元気のいいのが会長です。

ブログはご紹介にあったように、最初は「年金放談」です。

2009年5月に突然、退職者の企業年金を半額にすると会社が言ってきて、「何だこれは、そんな理不尽なことが通るものか」と怒って、「日本航空が破綻しそうだから年金減額を認めてくれ」と言っているが、その経営悪化の本当の原因をきちんと見極めた上で正しい再建の方法を考え、実行しなければ、本当に破綻すると考えました。

2009年11月23日に、最初の企業年金に関する会社の説明会が行われた際、その会場で私と丸山の連名で西松社長に提言を提出しました。それでいろいろと騒ぎみたいなのも起こったわけですが、その提言を先ず2009年12月15日にブログの第1号として掲載し、世間に広く知ってもらおうと始めたのが「年金放談」でした。

初めはわれわれの懐に直接関わるものですから、もうみんなしゃかりきになって、声を上げたわけです。

それこそ年金基金といろいろやりとりがあったり、社長や会長に質問状を出したりということが続けてきましたけれども、結局「破産する」という脅しに屈して年金受給者の3分の2が減額を受け入れるとして決着したわけです。

これは、ひとえに会社がマスコミを使って世論操作をやった結果だと私は思っています。それに比べて今回の東電・福島原発事故では、年金減額の話はほとんど出ませんよね。ちょっと出るけれども、マスコミの経営自体も年金の運用にかなり四苦八苦しているところがあるから……、というのは余談です。

しかし、2010年の初めに年金減額がわれわれ退職者のところでほぼ3割以上減額ということが決ったのとほぼ同時に、日航は破綻したとして更生手続きの申請ということになっちゃったものですから、詐欺みたいなのです。それじゃあ、われわれの主張として、「おかしいではないか、何で現場の社員にみんな背負わせるんだ。責任を取るべき人間はもっといるだろう」ということで「再建放談」に看板を代えて、いろ

いろ言いたいことを書き続けています。

お陰様でかなりの固定読者層がいらっしゃるようで、この中には面白いことに経営側の読者もいるようです。ひとつの情報源として使っているのだと思います。

演壇の私の右側に座っておられる現役のお三方が、るる説明してくださったようなことも、殆んど全て私どものブログでは取り上げて、面白おかしく説明をしていますので今後とも引き続きご愛読をお願いします。

（丸山さん）

丸山です。本日のプログラムのところに、私たちのホームページのURLが書いてありますので、お暇なときに見てください。タイトルは「一刀両断、JAL騒動！ キャプテン・アラキーの再建放談」です。やはり荒木さんの方がネームバリューが高いし、ゴロもいいですね。「キャプテン・アラキーの年金放談」だったのが、今は「再建放談」になっています。

始めた動機ということ言えば、広く一般の人にも日本航空の中身のこと、実態を知っていただきたい、ということです。皆さんからご覧になると、もうちょっと適切な表現を使ったらどうか、ということもあるかと思いますが、一般の人には航空用語が分かり難いので、ド素人のような書き方をわざとしているところがあります。しかし、言っている中身はそんなに間違っていないと思いますので、表現は一般の人を対象に書いているということ、私どもが配慮しているということも感じていただければありがたいなと思います。

ひところ、年金の問題が片付いたら、かなりアクセスの数が減ってきたのですが、最近、先ほどご紹介のありました機長組合の執行委員選挙でまた人気盛りあがってきて、最近ではちょっとしたヒットになってきましたね。1週間で6,000件くらいのアクセスがあります。読んでくださる数がどんどん増えると、経営に対しても圧力になってくると思いますので、是非とも皆さん、宣伝にこれ努めてアクセスの数を増やしていただきたいというのがお願いでございます。

まずは、よろしく願います。